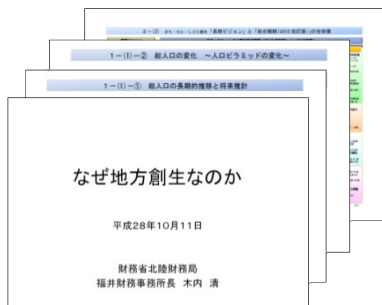


- ◆ 北陸財務局及び福井財務事務所では、平成28年5月及び7月に、財務省と連携し、福井県立敦賀高等学校において財政教育プログラムに関する公開授業を実施。当該授業が同校教諭や生徒から大変好評であったことから、同校から「地方創生プロジェクト」の実施についても支援要請があり、快く受諾。
- ◆ これからの地方を支える高校生が直面する人口減少社会への対応や地域活性化策などについて自ら検討することに対し手助けとなるべく、当所幹部による講演、若手職員によるアドバイスを実施。

## 1. 成果事例の概要等

- 北陸財務局及び福井財務事務所では、平成28年5月及び7月に、財務省と連携し、福井県立敦賀高等学校において、**財政教育プログラムに関する公開授業を実施。**
- 当該公開授業における財務省、当局及び当所の対応などが同校教諭及び生徒から大変好評であったことから、引き続き、同校が行う「地方創生プロジェクト」※への支援要請があり、快く受諾。  
※同校2年生の一クラス(38名)で、28年9月から29年3月にかけて10コマ程度で行うカリキュラム(総合的な学習の時間)のテーマ
- 担当教諭から趣旨等の説明を受けた後、**当所と同校で打ち合わせを実施し、進め方などについて企画。**その中で、地元の敦賀市の協力が不可欠であるとして、**当所から同市担当課を紹介し、同市に当所が同行訪問して支援を要請。同市も連携して当該取組を支援。**
- 最初に、**地方創生コンシェルジュである当所所長から政府一体として取り組んでいる地方創生の推進に向けた施策などについて概要を説明。同市の地方創生担当課からも総合戦略を説明し、国・地方が取り組んでいる人口減少社会への対応策などについて講義。**
- 講義を踏まえ、生徒たちがグループに分かれ、それぞれのグループごとに**敦賀ならではの地域活性化策を検討。**
- 複数回のグループ活動を経て、29年2月に発表・審査会(プレゼンテーション)を実施。**当該審査会に当局及び当所の若手職員がアドバイザーを兼ねて参加。**



## 2. これまでの取組の成果等

- 同校の生徒は、卒業後の進路として福井県外の大学等への進学が多いが、大学等の卒業後に、Uターンで地元に戻ってこられるよう、地元の良さを発見する機会となった。

### <先生の声>

今回の取組を通じて地元である敦賀の価値をあらためて再認識したことは、生徒にとって今後の良い財産になるのでは。

- 当局にとっても、地方公共団体と連携することにより、関係の深化を図ることができたほか、審査に参加した若手職員にとっても新たな発見があり、地域貢献策の検討の一助となった。

### <当局参加者の声>

以前行った財政教育プログラムの授業の効果からか、財源・資金調達にも配意した発表が多かったほか、高校生らしい斬新な発想もあり、刺激を受けた。

### プレゼンテーションの様相



- ★ 最優秀に選ばれたグループは、**29年3月23日に敦賀市役所において市長への政策提言の形でプレゼンテーションを実施。**



挨拶をする市長と同校生徒  
(市長の隣は福井財務事務所長)

## 3. 今後の福井財務事務所の対応

同校からは、平成29年度においても財政教育プログラムに関する公開授業を開催したいとの意向があり、引き続き、同校の取組を支援し、関係深化に努めていく。